

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

すべてを、なくしていく。システム開発における課題をなくし、あらゆる限界を超えていくことで、国の確実な豊かさと幸せを企業とともにつくり上げていく。

国内ITサービス市場
10兆2,541億円

市場成長率
6.2%

② 中長期の経営戦略

1. 0次システム開発の推進

顧客から直接受注し多重下請けを行わない。アジャイル開発により大手1次請け企業より競争力のある価格を実現。

3. プラットフォーム拡大

WhiteBoxを活用し、パートナー企業との連携拡大と0次システム開発の推進を進める。

2. DXの総合商社化

既存顧客ネットワークを活かし、0次ラボなどソリューション強化とAI・サイバーセキュリティ等の最先端テクノロジー強化を推進。

4. ソリューション型サービス強化

スクラム開発推進、0次ラボ、0次コンサルの強化。AI、データサイエンス、サイバーセキュリティの高度な技術力を強化。

③ 対処すべき課題

① 人材の確保と育成

- ・ 0次システム開発を担う優秀なエンジニアの採用と育成
- ・ 給与水準の向上や福利厚生充実による定着率向上
- ・ スキルアップ支援や働きがいのある職場づくり

② パートナー企業との連携拡大

- ・ 業界改革に共感するパートナー企業の拡大
- ・ 案件規模拡大に必要な技術・リソース確保
- ・ WhiteBoxを活用した連携可能なパートナーの開拓

③ 情報管理・内部管理体制の強化

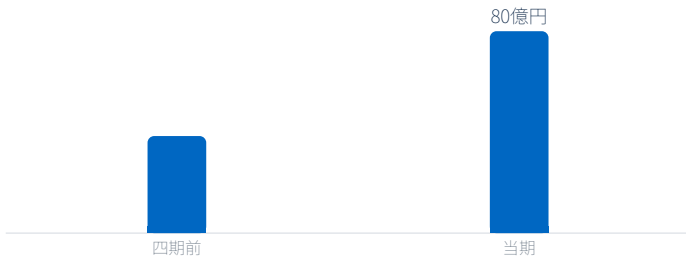
- ・ 顧客機密情報・個人情報のセキュリティ体制強化
- ・ コーポレートガバナンスの充実強化
- ・ マネジメント人材やバックオフィス要員の採用・育成

面接で使えるポイント

- ・ 年商1千億円以上の大手企業グループ顧客から0次システム開発で直接受注を獲得する競争力のあるビジネスモデル
- ・ 2030年に10兆2,541億円規模に成長予測される国内ITサービス市場において、DXの総合商社として成長を目指す戦略
- ・ システム開発業界の多重下請け構造をなくし、エンジニアの地位向上と業界全体の構造改革を推進する理念

証券コード 155A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近1期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
大手優良企業を対象としたシステム内製支援事業を展開する情報通信サービス企業

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
80億円営業利益率
6.9%財務健康度
53点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 48.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
640万円

情報・通信業内 331位/592社

平均年齢
32.3歳

情報・通信業内 560位/593社

平均勤続
4.4年

情報・通信業内 409位/593社

女性管理職
8.3%

情報・通信業内 287位/373社

男性育休
53.8%

情報・通信業内 255位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)情報戦略テクノロジー【155A】：決算情報

